

事業報告書

第10期

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日



一般社団法人新CAS協議会

一般社団法人 新CAS協議会
2024 年度 事業報告
【2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日】

1. はじめに

一般社団法人 新CAS協議会は、4K・8K衛星放送（4K・8K放送）の開始に合わせて放送コンテンツの保護管理に必要な新しいCASシステム（ACAS方式）を開発し、テレビ受信機等に実装されるACAS方式を搭載するICチップ（ACASチップ）の普及に取り組んでいる。

ACASチップを採用する受信機メーカーは、2024年度までに国内外のメーカー合わせて30社超となり、数年内には市場に供給されるACASチップ搭載のテレビ受信機は3,000万台に達することが予想される。

2018年の4K・8K衛星放送の開始以来、ACASチップの不具合やチップ故障によるユーザー段階でのトラブル発生は極めて稀で、CAS方式としての安定性及び部品としてのチップの信頼性は、ゆるぎないことが確認されている。

2024年度を通じて、ACASチップの2K受信機への利用拡大を軸として、選択肢の多様化を図りながら更なる普及を目指せるよう力を注いだ。年度内にはARIB（一般社団法人 電波産業会）規定の改定も完了し、新たな体制の基盤は固めることができた。

通信によるコンテンツ視聴機会の拡大により、放送コンテンツの一層の充実が求められる中で、2024年度も当協議会の使命を果たすことができた。更なる普及拡大の機会を逃すことなく、市場におけるACASチップの品質監視と合わせて、ACAS方式開発ベンダーやACASチップ製造メーカーと密に連携することによって、問題発生時の対応力の更なる強化に取り組みつつ、当協議会の事業を活発に展開していく。

より多くの視聴者が、放送を通じて高品質の映像コンテンツを安心して楽しめる環境の維持は、当協議会が担う重要な責務である。幅広い分野の事業者と連携しながら引き続きACAS方式の安定的な運用に力を注いでいく。

2. 事業方針

【2－1：技術部】

技術部では、4K・8K放送の更なる普及に向けて、関係機関等と連携を図りながら放送コンテンツを適切に保護するための仕組み（ACAS方式）の安定運用及び継続的なセキュリティ維持・管理に関する業務を進めた。

① ACAS方式の運用

ACAS方式の安定運用を図るため、方式の実運用対応を着実に進めた。2024年度は、ACASチップを2K受信機においても利用可能とするために、ARIB（一般社団法人 電波産業会）標準規格等の改定等に取り組んだ。

今後も、市販受信機におけるACAS機能の技術検証や運用性向上のための技術検討を進めながら、放送局設備、受信環境及びACASチップ等における適切な方式運用を推進していく。

② 関連設備の運用

鍵管理システム等の各設備において、セキュリティ管理及び安定運用に努め、鍵データ発行等への継続的な対応を行った。

③ セキュリティの維持・管理

ACAS方式の継続的なセキュリティ維持の取り組みとして、放送事業者及び鍵発行サイト等のセキュリティ点検並びに脅威調査及び脆弱性分析等のACASチップのセキュリティ評価等を実施した。

また、セキュリティ維持に関する取り組み状況等について、有識者による新CAS評価委員会で報告し、助言をいただいた。

④ 技術仕様等の整備

受信機メーカー及び放送事業者等に向けたACAS方式に係る技術仕様並びにACAS方式運用及びセキュリティ維持に関わる規程等の策定と維持管理を引き続き進めた。

⑤ 関係機関等との情報共有

ACAS方式の普及と維持管理を目的とし、放送事業者、ケーブルテレビ事業者、受信機メーカー、CASベンダー及び関係機関等との情報共有と連携を図った。

⑥ 技術委員会等の運営

技術委員会等の適正な会議運営を図り、ACAS方式に関する技術情報の共有、迅速な課題解決を図った。

【２－２：技術企画部】

技術企画部では、ＡＣＡＳチップ向けＫｍ鍵の発行に関わる各業務について引き続き高い精度での運用を実施するとともに、技術部と連携し関連業務の課題検討を行い、必要な業務改善を継続的に実施した。

① Ｋｍ鍵発行業務

Ｋｍ鍵の発行業務について関係先の協力のもとで運用部と連携し主要業務としての信頼性を担保する。またＡＣＡＳチップの普及拡大が円滑に行われるべく、精度の高い鍵発行業務を実施した。

② Ｋｍ鍵及びＡＣＡＳチップの在庫管理集計業務

販売会社より報告される発行済みＫｍ鍵の使用状況とＡＣＡＳチップの販売状況について、在庫管理規程に沿った運用が行なわれることを担保、且つＡＣＡＳ方式のセキュリティ維持要件に適ったデータの蓄積と集計を維持した。

また、構築したＡＣＡＳチップ発行済ＩＤ番号の管理データベースを活用し、２Ｋ受信機でのチップ搭載開始で見込まれる受信機メーカーとの新規契約及びＫｍ鍵発行数の増加に対応できるよう備えた。

③ ＡＣＡＳチップ発行ＩＤ番号管理業務

ＡＣＡＳチップ発行ＩＤ番号管理についてはＫｍ鍵発行業務と相互で連携をとり、精度の高い業務遂行を行う。またＫｍ鍵発行数量及び発行ＩＤの集計データを有効に運用管理し、適切な情報共有を適宜で実施した。

【２－３：運用部】

運用部では、ＡＣＡＳチップ搭載受信機の更なる普及を促進するとともに、関係者間の連携を維持し、必要に応じて拡大を検討した。

また、放送事業者や関連団体、企業と連携し、視聴者が４Ｋ・８Ｋ放送を安心して視聴できるよう、具体的な説明環境を整備する活動を進めた。

① ＡＣＡＳチップ搭載受信機の更なる普及拡大

ＡＣＡＳチップ搭載受信機の更なる普及のため、関係各社との連携や流通ルートの維持、緊急時の備えのための調整を継続して行った。

また、新たな企業がＡＣＡＳチップ搭載受信機メーカーとしてスムーズに参入できるよう、手続きの迅速化を励行した。

② 視聴者、関係者への丁寧な説明

関連団体や受信機メーカー、放送事業者等と連携し、視聴者への適切且つ丁寧な説明を行うとともに、コールセンターをはじめとする必要な体制の整備・充実を図った。

③ 運用委員会等の運営

運用委員会等の会議体を通じて会員各社と協力しながら、ＡＣＡＳ方式の安定運用及び事業費の適切な活用等の課題に対応した。

【2－4：総務・経理部】

総務・経理部では、当協議会運営に関わる体制の整備・充実の取り組みを更に進めていった。

① 法人ガバナンスの強化

公益的な立場から、ACAS方式の管理維持を行う一般社団法人として、高い透明性を確保した事業運営を行うため、引き続き各種内部規則・規程類について、適宜的確に見直しを図るとともに法令・規則等の遵守に努めた。

② 会議の運営

社員総会・理事会・運営委員会等の会議の運営にあたっては、会員・委員等と緊密に連携し、インターネット会議システムを活用しながら、効果的且つ効率的な会議運営を行った。

③ 適正な予算管理

会計監査人及び顧問税理士法人と連携し、適切な区分経理処理を行うとともに、関係部長と連携しながら、運営経費の削減に努めた。

④ セキュリティ管理の強化

情報セキュリティ管理規程に則り、各部と連携して、管理体制を適宜見直しながら、当協議会内の重要物品・重要情報の管理、漏洩防止、防犯等、セキュリティの管理強化に努めた。

3. 法人の運営

2024年度に開催された主な会議は以下の通り

区 分	回 数	開催日
社員総会	第25回（臨時・決議の省略）	2024年 4月 1日
	第26回（臨時・決議の省略）	2024年 5月21日
	第27回（定時）	2024年 6月26日
理事会	第83回（決議の省略）	2024年 5月29日
	第84回（電子メール/報告）	2024年 6月 3日
	第85回	2024年 6月26日
	第86回（電子メール/報告）	2024年12月10日
	第87回	2025年 2月26日
運営委員会	第95回（WEB）	2024年 5月21日
	第96回（電子メール）	2024年 6月20日
	第97回（WEB）	2024年12月10日
	第98回（WEB）	2025年 2月25日

※上記の他、運用委員会、技術委員会を適宜、開催した。